



医学生のためご

4月号

新年度の抱負はありますか

4月になり、新学期や新生活が始まりますね。

新年度が始まると、特に受験生はあと1年という気持ちになり、身が引き締まりますね。1,2年生だと、進路が明確になってきたり、部活動などの学校生活に最後まで一生懸命だったりいろいろなと思います。学校生活のどんな経験も、将来に生きてくると思いますので、引き続き楽しんでください！

新しい挑戦をしたくなったら、いつでも千葉民医連の企画にぜひ来てみてくださいね。

2026年度 高校生企画の年間予定

高校生医師体験は、千葉県民の日(6/15)、夏休み、冬休み、公立入試期間、春休みの計5回開催予定です。25年度の医師体験の申し込みは158名、参加は113名に上りました。今年度は120名参加できるように企画を進めていきます。

模擬面接体験では、夏休みや直前期に加え、6月頃から月1回程度定期開催します。もちろんこれまで通り、別日時の要望にもお応えしていきます。

ボランティアは、地域ボランティアを中心に年4回ほど開催予定です。病院が行う健康まつりにも参加できるように、現場で働く医療従事者とも交流できる機会を作ります。

そして、夏ごろに一度、医学生との交流企画を行います！アンケートでも、医学生懇談を希望する方が多かったからです。受験のことや在学している大学の特徴など、自由にお話しできる企画にしたいと考えています。

その他にも医学部受験や医師を目指すモチベーションにつながる企画を考えていきますので、HPや公式LINEのお知らせをご確認ください！！

医師体験	6/15、7/21～8/28、12/24～25、2/16～19、3/25～31
模擬面接	6月から月1回土曜日午後に定期開催
ボランティア	年4回ほど地域ボランティアを中心に開催
医学生懇談	夏休み期間に、医学部1年生や先輩医学生との交流

※予定は変わることもありますので、あらかじめご了承ください

キーワードを深めよう 『医師不足①』

今年度、はじめの数回は「医師不足」をテーマに深めていきます。

よく高校生や医学生と話していると、「医師不足」と「医師偏在」という言葉が出てきます。さて、この言葉は同じ意味なのでしょうか。どちらの言葉を使うようにすればいいのでしょうか。

